

保護者の皆様

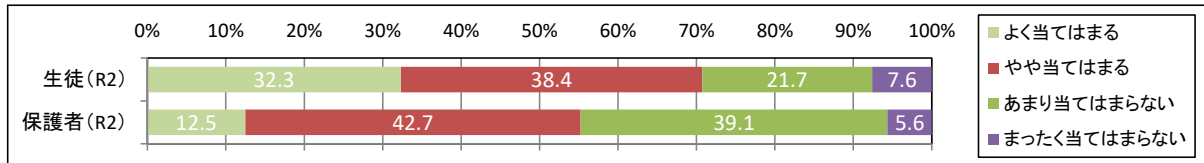
令和2年度1学期 生徒・保護者アンケート結果

小豆島町立小豆島中学校

7月に実施した生徒・保護者によるアンケート結果・考察等についてお知らせいたします。

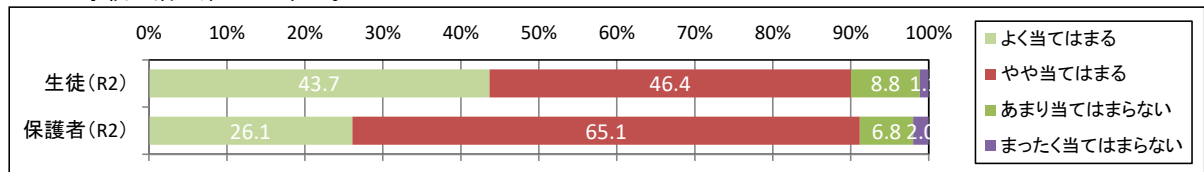
- I 実施日 令和2年7月中旬
- II 調査人数 生徒 264名／271名(回収率97.4%) 保護者250名／271名(回収率92.3%)
- III 結果と考察

1 将来の夢や目標をもっていますか。



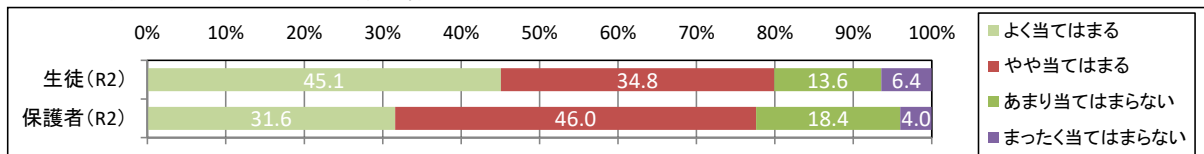
肯定的に回答している生徒の割合は70%程度であり、保護者は、そのポイントよりさらに低い結果となっています。将来の夢や目標をもつことは、学習に対するモチベーションを高めることにつながります。1年生「進路を考えるつどい」(3月実施予定)、2年生「職場体験学習」(1月実施予定)、3年生「進路指導」を核としながら、学校の教育活動全体を通して、生徒に「学ぶこと」「働くこと」「生きること」について理解を深めるキャリア教育を推進していきます。また、今年度から「しまっ子キャリア・パスポート」の利活用を通して、「学びの過程」や「自分の成長」をキャリア教育の視点で振り返るようにしています。ご家庭においても、将来の夢や目標について親子で会話する機会をもってくださいますようお願いいたします。

2 学校生活が楽しいですか。



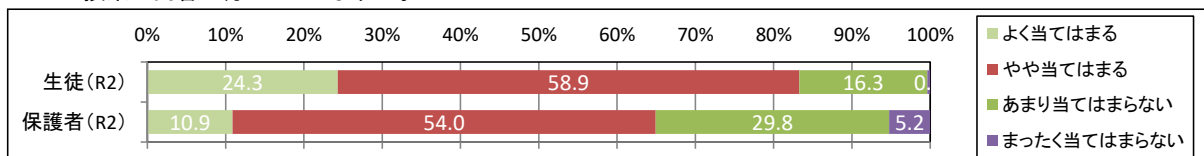
肯定的に捉えている割合が、生徒・保護者ともに90%を上回っていますが、否定的に捉えている生徒が約10%見られます。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、生徒が楽しみにしていた1学期の行事が中止となったことも影響していると思われます。授業、所属学級、部活動、人間関係等、様々な角度から分析し、マイナス要因をつきとめて改善する努力をしていきます。教育相談や生徒との触れ合いを通して、生徒の悩みを聞き、ともに考え解決に向けて努力するとともに、学級や部活動において生徒が楽しいと感じられる雰囲気づくりができるように全職員で取り組んでいきます。

3 学校のことや友達のことを家庭で話しますか。



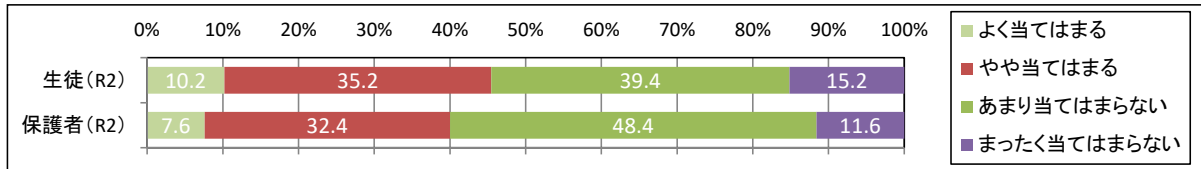
「あまり当てはまらない」、「まったく当てはまらない」と答えた生徒が20%を占めており、約5人に1人は家で学校や友達の話をお話しないようです。生徒は、忙しい日々を送っており、ゆっくり落ち着いて話をする時間を確保することは難しいかも知れませんが、話すことでストレスを解消したり、悩みの解決につながったりすることもあります。少しでも家族で話をする時間を、是非取っていただきたいと思っております。話をする中で、気になることがありましたら学校にご連絡ください。

4 授業の内容が分かっていますか。



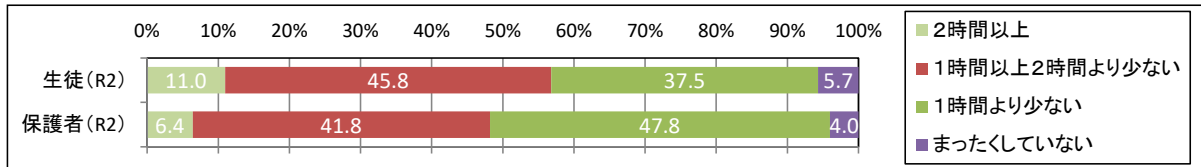
肯定的に回答している生徒の割合は83.2%であるのに対して、肯定的に捉えている保護者の割合は、生徒より約18ポイント低い結果となっています。お子様の学習成績や家庭での学習状況から、授業内容の定着度を不安視されているのかもしれませんが、生徒にとって分かる授業となるように、生徒からの率直な意見に耳を傾けながら授業改善に努めます。少人数授業や複数教員による授業を充実させたり、ICT機器を効果的に活用したりすることによって生徒が興味・関心をもって授業に臨むことができるようにしていきます。また、分からないところを積極的に質問することができる生徒の育成や質問しやすい雰囲気の醸成にも努めていきます。授業内容の定着度を高めるために、ご家庭においても、お子様の学習時間が十分確保されますようご指導をお願いいたします。

5 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。



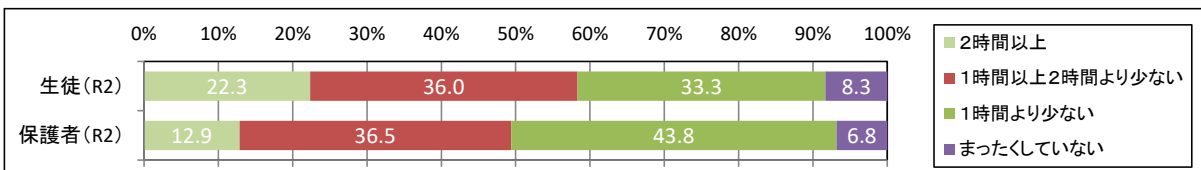
全体の半数を超える生徒が、家庭学習を計画的に進めることができていないと認識しています。さらに60%の保護者が、お子さんの家庭での学習状況に主体性を感じられていないようです。日々の授業で学習した内容を着実に定着させるためには、計画的な家庭学習を地道にこつこつと行うことが大切です。学習の仕方については、各学年部や各学級において全体指導や個別指導を行っています。全校生に配布している「家庭学習の手引き」を活用し、宿題プラスアルファの学習が進められるように、ご家庭においてもご指導よろしくをお願いします。

6 学校の授業以外に普段(月～金)、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(宿題や学習塾や家庭教師の時間も含まれます。)



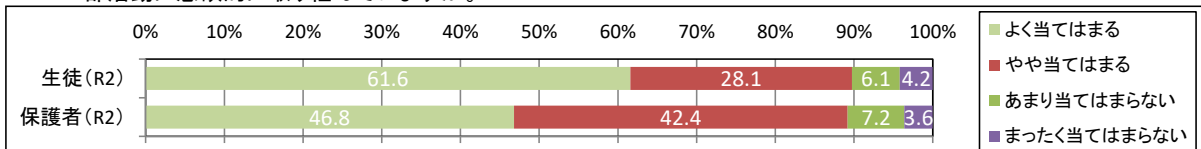
「1時間より少ない」「まったくくしていない」という生徒が、40%を超えています。明らかに学習時間が不足していると言えます。この課題をクリアするためには、帰宅後の限られた時間を、いかに有効に使うかが大きな鍵となります。今年度は、1年を通してスクールバスの2便が18:10学校発になり、帰宅時間が早まっています。学力向上に向けて、最低1～2時間以上は家庭学習の時間が確保できるように指導していきたく考えていますので、ご家庭でもご協力よろしくお願いします。

7 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(宿題や学習塾や家庭教師の時間も含まれます。)



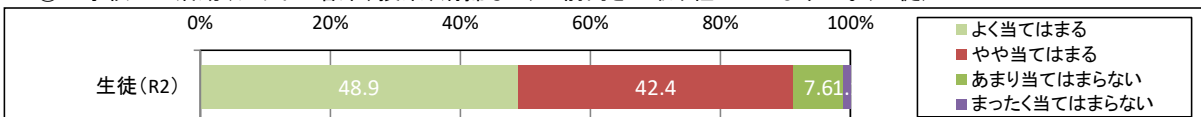
平日に比べると、十分時間的なゆとりがあると思われる週末をいかに有意義に過ごすかによって、学力面で大きな差が生じてきます。「2時間以上」の生徒の割合は平日に比べると約2倍に増えていますが、「1時間より少ない」「まったくくしていない」という生徒が平日と同程度の40%を超える割合を占めています。余暇を楽しみながらも、きちんと学習に向かうことができる生徒を育てていきたいと思っておりますので、ご家庭でもご協力よろしくお願いします。

8 部活動に意欲的に取り組んでいますか。



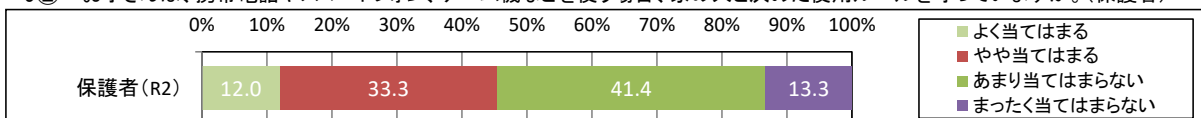
今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために郡・県・四国総体や各種コンクール等が中止となったり、練習内容に制限がかかたりしています。そのような状況にもかかわらず、肯定的な回答が、生徒、保護者ともに多数を占めており、良好な結果が得られたと考えています。今後も、従来の活動に工夫を加えながら、生徒が主体的に取り組む、充実した活動となるよう努力します。また、部活動本来の目的として、「試合に勝つ」だけでなく、「チームワークや礼儀」を学んだり、「やればできるという自己肯定感」を高めたりすることに目を向けさせるような指導に努めていきたいと思っております。

9① 学校での活動(チャイム着席、授業、清掃など)に前向きに取り組んでいますか。(生徒)



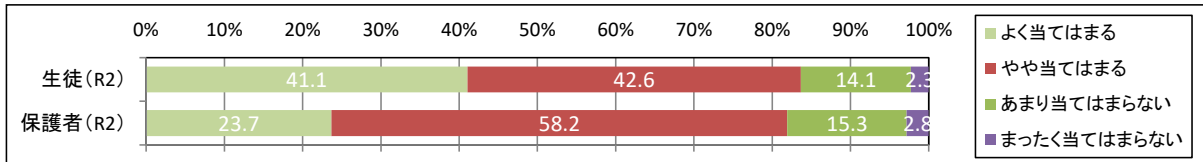
肯定的な回答が90%を超えており、良好な結果であると言えます。1学期の生徒の学校生活を振り返っても、授業開始のチャイムに遅れる生徒はほとんどいませんし、規律正しく授業を受けることができています。2学期も、1学期以上に、生徒会を中心に生徒自治の活動が充実できるようにしていきたいと考えています。無言清掃についても、すべての生徒の意識が高まるように取り組んでいきます。

9② お子さんは、携帯電話やスマートフォン、ゲーム機などを使う場合、家の人と決めた使用ルールを守っていますか。(保護者)



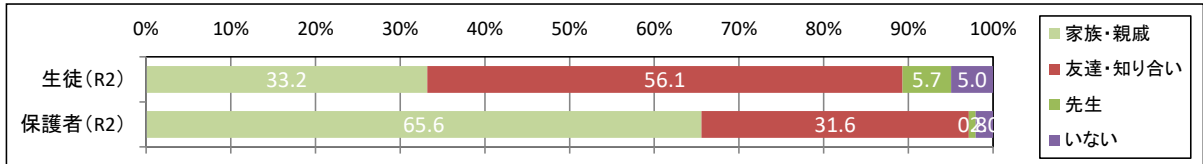
香川県学習状況調査における生徒質問紙調査では、毎回県平均を下回る結果が出ている質問事項です。昨年度の香川県学習状況調査では、約30%の生徒が「ルールを決めていない」と回答していました。スマートフォンやゲーム機等の長時間利用が、子どもに及ぼす影響は大きく、家庭での生活リズムが乱れたり、家庭学習時間が減少したりするなどの問題を引き起こします。夏季休業前に配布しました「携帯・スマートフォンとの上手な付き合い方」に関するプリントを参考にいただき、子どもたちの健全な成長を促すためにも、各ご家庭で使用ルールを徹底してくださいませよう、よろしく願いいたします。

10 友達、先生、家族、近所の人に進んであいさつができていますか。



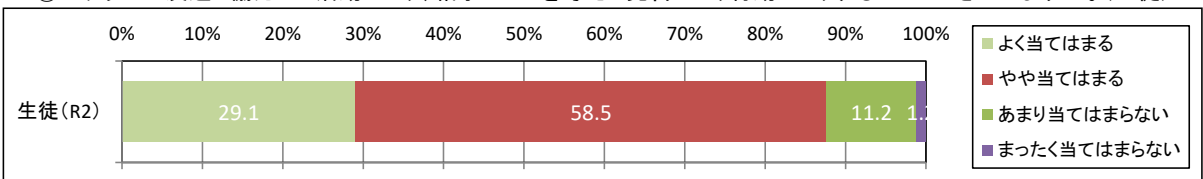
登校時のあいさつ運動では、ほとんどの生徒があいさつを返してくれますが、進んであいさつをする生徒の数は少ないのが現状です。部活動時には大きな声であいさつができて、それが学校生活や家庭生活にまだ生かされていないようです。2学期は、登下校時、授業の始めと終わり、部活動時のみならず、普段からお互いに笑顔であいさつができる、温かみのある学校にしていきたいと思ひます。ご家庭でのご指導も、よろしくお願ひします。

11 困った時、一番にだれに相談しますか。



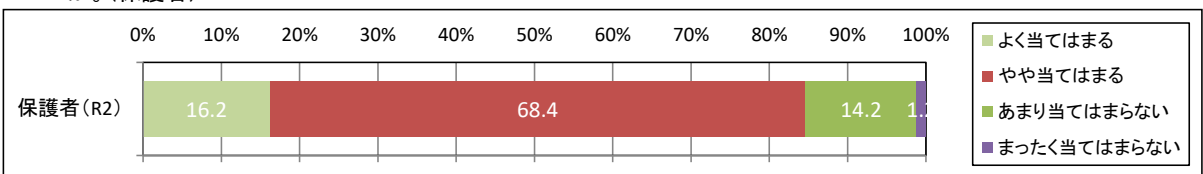
生徒は「友達・知り合い」「家族・親戚」「先生」の順で相談するという結果となっており、友達関係は良好であるという生徒が多いと考えられます。「先生」と答えた生徒は少ないですが、生徒一人一人をよく見て、困ったことや悩みごとがあればすぐに相談に乗れるような人間関係や体制づくりに努めたいと思ひています。また、今年度はスクールカウンセラーが2名、スクールソーシャルワーカーが2名来校しています。これらの専門的知識をもった先生方との相談についても、効果的に行えるようにアドバイスをしていきます。

12① クラスの友達と協力して活動したり、相手のことを考えて発言したり行動したりすることができていますか。(生徒)



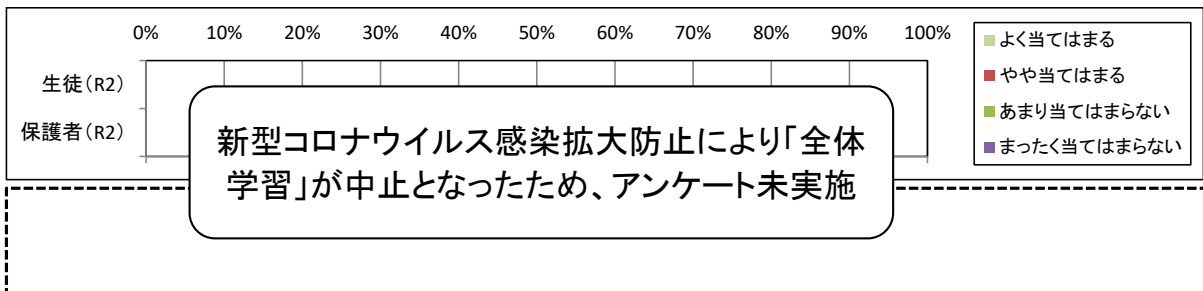
「よく当てはまる」「やや当てはまる」と回答した生徒が大勢を占めていますが、十分取り組めていない生徒の割合が12.4%に上っていることから対策が必要であると感じています。2学期は潮会や人権集会などの行事があり、その成功に向けて、クラスでより一層団結を図る必要があります。総合的な学習の時間や道徳の授業を通して、それぞれの個性や立場を尊重し、思いやりの心をもって人と接することのできる生徒を育てていきたいと考えています。

12② 学校からのお知らせ(学校・学年だより、Webページやメール配信)には、保護者の知りたい情報が載せられていますか。(保護者)

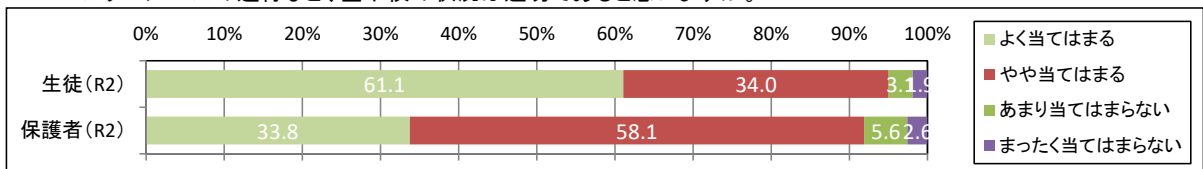


「よく当てはまる」「やや当てはまる」と回答した保護者が80%以上を占めています。緊急時の情報伝達手段として重要性が増しているメール配信の充実に力を入れます。また、学校だよりやWebページの内容の更なる充実に努めていきたいと思ひます。保護者の皆様からのご意見やご要望を具体的にお知らせください。

13 なかまづくりの一環として、それぞれの学年で自分の思いを語り、友達の思いに共感し、心と心をつないでいく「全体学習」に取り組んでいますが、この取り組みをよいと思ひますか。

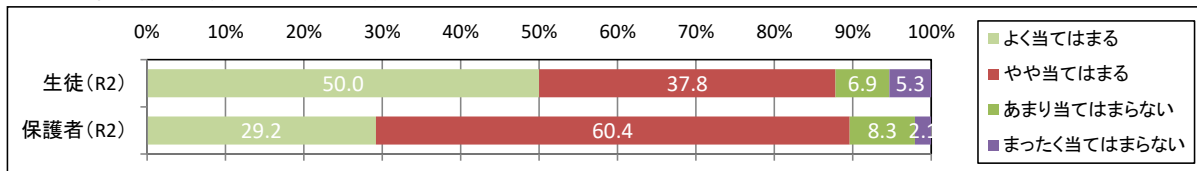


14 スクールバスの運行など、登下校の状況は適切であると思ひますか。



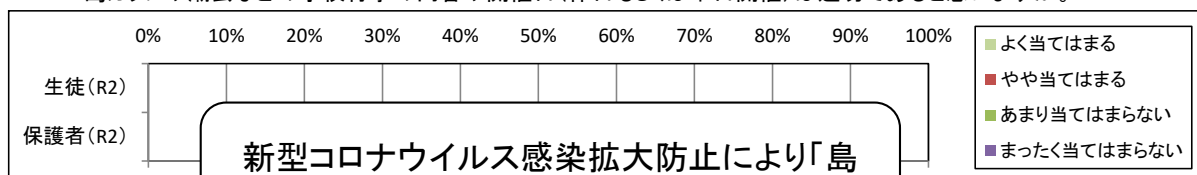
スクールバスについては、特に大きな問題もなく運行できていると思ひます。自転車での登下校については、急な飛び出しや並進など、危険な乗り方をしているとの指摘が地域の方からありました。ご家庭の協力を得ながら交通安全指導を徹底し、生徒の危険予知や危険回避能力を高めていきたいと考えています。

15 部活動の活動時間は適切であると思いますか。



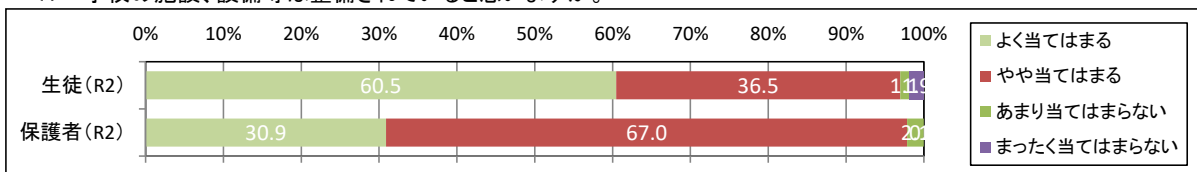
肯定的に捉えている割合が、生徒・保護者ともに90%近くを占めています。小豆島町の部活動ガイドラインに則り、1日の活動時間を平日は2時間程度、学校の休業日は3時間程度としています。また、今年度から基本的に毎週水曜日を部活動中止にしています。今後できるだけ短時間で、合理的にかつ効率的・効果的な活動を行っていくよう努力していきます。気になることがありましたら学校にご相談ください。

16 島カップや潮会などの学校行事の内容や開催日(休日もしくは平日開催)は適切であると思いますか。



新型コロナウイルス感染拡大防止により「島カップ」が中止となったため、アンケート未実施

17 学校の施設、設備等は整備されていると思いますか。



生徒・保護者ともに97%以上が肯定的に回答しています。1学期は、教室に設置しているプロジェクタの交換を順次進め、画像等の解像度が格段によくなりました。スクリーン上の学習内容が見やすくなり、生徒の学習環境が改善されています。今後も、生徒及び保護者の皆様方の意見を聞きながら、より快適に生徒が学習や部活動に取り組めるように環境整備に努めます。

上記の14～17の問に対して1または2と答えた方はその理由をお聞かせください。(複数回答のみ)

15について

- ・平日の部活動の時間が短すぎる。
- ・部活動の平日と休日の練習時間に差があり、体力的に負担を感じている。

18 小豆島中学校をよりよい学校にするために、改善点があればお書きください。(複数回答のみ)

- ・もっとあいさつを活発にすることによって、学校全体に明るい雰囲気生まれると思う。

2学期の取り組みについて

アンケートの結果をもとに、次の点に取り組んでいきます。

- 学校の教育活動全体を通して、生徒に「学ぶこと」「働くこと」「生きること」について理解を深めるキャリア教育を推進していきます。
- 分かる授業、お互いに学び合う授業を推進するとともに、家庭学習の時間の確保や内容の充実に向けて、学級や学年で指導していきます。
- 全校生が大きな声で元気よくあいさつができるように、生徒会や専門委員会、部活動を中心にあいさつ運動を展開し、全校生にあいさつの大切さを指導していきます。
- 教育相談やスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの活用等により、悩みを抱える生徒の変化に気づき、学校の中ですぐに対応できる体制づくりに努めていきます。
- 「潮会」や「人権集会」を通して「なかまつくり(互いに認め合い、支え合い、高め合うなかま)」を推進し、一人一人を大切にする学級・学年づくりに努めます。
- 部活動における休養日を平日は毎週水曜日に、土曜日及び日曜日は少なくとも1日以上設定し、生徒が心身ともにリフレッシュして、学校生活や家庭生活を送ることができるようにします。